

# THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

大原社会問題研究所雑誌

No. 569 April 2006

569 2006. 4

## Special Issue: 18th International Labour Symposium

Youth: Pathways to Decent Work. Promoting Youth Employment-Tackling  
the Challenge on International Labour Conference 93<sup>rd</sup> Session, 2005

.....HORIUCHI Mitsuko  
Concerning Discussions at the ILO Conference.....TANAKA Ayumi  
From the Position of Workers .....YUMOTO Kenichi  
From the Position of Employers .....HIRATA Mitsuru  
ILO Report and Japan .....UENISHI Mitsuko  
Questions and Answers

Related Document: Resolution concerning Youth Employment

## Article

The "Lower-class" Characteristics of Workers in Heavy Industries in  
the Period of Japan's Industrial Revolution (2) .....NISHINARITA Yutaka

## Memoir

Research on "Photoengraving and Coalmining Workers" during My  
"Apprentice Researcher" Period (2) .....YAMAMOTO Kiyoshi

## Book Reviews

Royden J. Harrison, *The Life and Times of Sidney and Beatrice  
Webb: 1858-1905*.....TSUZUKI Chushichi  
MORI Hiromasa, *Japanese Coal Miners in Germany: a history*  
.....ICHIHARA Hiroshi  
MIZUNOYA Takeshi, *Working time and time use of employed workers*  
.....MITOMI Kiyoshi

## Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

.....Ohara Institute for Social Research

## Monthly Research Meeting

五六九号 【第18回国際労働問題シンポジウム】

## 【第18回国際労働問題シンポジウム】

2005年のILO第93回総会について	堀内光子	3
ILOにおける審議をめぐって	田中 歩	6
労働者の立場から	湯本健一	11
使用者の立場から	平田 充	14
ILO『レポート』と日本	上西充子	17
質疑応答		
参考資料 若年雇用に関する決議		41

## ■論文

産業革命期日本における重工業大経営労働者の 「都市下層民」的性格について (下)	西成田豊	51
---	------	----

## ■研究回顧

修業時代の実態調査 (中)	山本 潔	65
---------------	------	----

## ■書評と紹介

R.ハリスン著／大前眞訳 『ウエップ夫妻の生涯と時代』	都築忠七	75
森廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者』	市原 博	81
水野谷武志著『雇用労働者の労働時間と生活時間』	三富紀敬	84

社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	89
-------------	---------------	----

## 月例研究会

所 報 2005年12月

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342 Aihara, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr.org>

e-mail : [oharains@mt.tama.hosei.ac.jp](mailto:oharains@mt.tama.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人  
法政大学大原社会問題研究所  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042 (783) 2305~7

定価1000円(本体952円)  
年間購読 12000円(税込)

二〇〇六年四月

発行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-7  
法政大学一口坂別館内 TEL 03 (5214) 5540  
郵便振替口座 00160-6-95814

# 法政におけるドイツ年2005/2006 世界を変えたドイツの知

法政大学大原社会問題研究所所蔵ドイツ関連貴重図書・資料展示会

協力：エーベルト財団（ドイツ）

展示会：「未来に向けて 図像と記録資料で綴るドイツ社会保障史」の開催を記念して

## 【開催期間】

3月1日（水）～3月28日（火）

10時～17時 \*日曜・祝日は閉館

## 【会場】 法政大学博物館展示室

（法政大学市ヶ谷キャンパス

・ポアソナード・タワー14階）

交通：JR市ヶ谷駅又は飯田橋駅より徒歩10分

入場無料

## § 展示テーマ §

1. 社会思想・社会科学の古典書籍・資料
2. マルクスとその周辺
3. ドイツ1848年革命
4. スパルタクス・ブンド
5. 日本の受容
6. 法政大学大原社会問題研究所・概要
7. ドイツでの図書・資料の収集
8. その他（ベルリンの壁破片など）

ギャラリートーク：研究者による展示解説 伊集院立氏（法政大学社会学部教授）

1回目：3月16日（木）午後1時より（事前予約不要）

2回目：3月23日（木）午後1時より（事前予約不要）

## DVD 視聴コーナー

大原社会問題研究所関連のDVDをご希望の方に視聴していただきます。

## 【お問い合わせ先】

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4-3-4-2

Tel:042-783-2307 Fax:042-783-2311

E-mail:oharains@mt.tama.hosei.ac.jp

http://oisr.org/

展示会「未来に向けて 図像と記録資料で綴るドイツ社会保障史」

## 【開催期間】

2006年2月28日（火）～3月29日（水）

10時～20時 \*日曜・祝日は閉館

【会場】 法政大学市ヶ谷キャンパス・ポアソナード・タワー 1・7・11・26階

入場無料

【主催】 ドイツ連邦共和国労働社会省

# 日本労働研究雑誌

No. 549 2006年4月号

定価 895円 年間購読 10,740円

## 特集 芸術と労働

音楽と労働－アリオ音楽財団のとりくみ

舞妓・芸妓のキャリア

表現教育はなぜ必要か？

放送関連労働者派遣について

美術のはたらき

劇場でのしごと～滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを例に～

インタビュー 芸能・芸術家の人材育成について－寺脇研氏にきく

お笑い芸人就職事情

対談 お笑い芸人の人材育成・管理について

映画をつくる労働

アニメ産業における労働

コンテンツ産業の労働市場

芸能実演家の労働者性

芸能実演家と国際労働基準

温故知新－実演家の保護と著作権制度

対談 エンタテインメント産業における人材活用

書評 阿部正浩著『日本経済の環境変化と労働市場』

森廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者－歴史と現実』

論文Today T. ベズリー/R. ベルゲス

「労働規制は経済パフォーマンスを悪化させるか？－インドの実証分析より」

Work for the Dole

江戸京子

西尾久美子

平田オリザ

萩 昌幸

北川フラム

上原恵美

増田晶文

藤村博之&木村政雄

佐藤忠男

勇上和史

八木 匡

浜村 彰

齋藤 周

本山雅広

内藤篤&菊谷達弥

照山博司

佐藤 忍

奥平寛子

岸 智子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

☎03-5903-6255

Digest of Science of Labour

# 労働の科学5

2006. may

第61巻第5号

定価1,100円・年間予約約12,000円

送料84円

## ●特集／こころのメンテナンス術

- ◆サラリーマンのうつ病 笠原 嘉 ◆悲観的  
にではなくうつ病を発展的にとらえる 井口英  
治 ◆人事担当者として上司による職場復帰者への  
対応 鈴木安名 ◆企業でのメンタルヘルス対  
策の実際 栗岡住子

## ◆巻頭言〈俯瞰（ふかん）〉

- うつ病は完全に治る……………小川 宏
- ◆困ったときの労研だのみ……………塩沢美代子
- ◆企業の社会的責任（CSR）とISO26000  
……………矢野友三郎
- ◆津波から1年後のインドネシア～POSITIVE  
プログラムの開催～……………吉川 徹



（財）労働科学研究所出版部（労研出版）

〒216-8501 神奈川県川崎市宮前区菅生2-8-14 電話044(977)2121(代) 00100-8-131861